

支援センター名	YYボランティアビューロー (山形県青年の家)
所在地	〒994-0032 山形県天童市小路一丁目7番8号
連絡先	Tel 023-654-4545 Fax 023-652-2007 ホームページ http://www.ic-net.or.jp/home/ieseinen/

事業の概要とポイント 事業名 「YY（やまがたヤング）ボランティアフォーラム」

1 趣 旨

青少年ボランティア実践者を拡充するために、学校内外を問わず、広く県内でボランティア活動を実践する青少年とその指導者が一堂に会し、日々の実践や課題等を発表し討議と交流を深めるために、新たな発見や学びの機会を設定する。

併せて、本県の特徴である学校枠を越えた地域単位の高校生ボランティアサークル活動（「山形方式」）の意義を確認し、青少年ボランティア活動実践化を促進する。

2 対 象

【高校生対象フォーラム】

学校内外を問わず広くボランティア活動を実践する高校生以上の青少年100名程度

【関係者・指導者等対象フォーラム】

青少年ボランティアの関係者・指導者等30名程度

3 期日・場所

平成15年10月18日（土）～19日（日）（1泊2日） 山形県青年の家

4 内 容

県内各地域ボランティアサークル関係者から運営委員（高校生9名一般10名）を選び、3回の運営委員会を経て事業の企画・立案、準備、運営を行う。

【高校生対象フォーラム】

フォーラムの柱を「学び・考え・体験する」の3つとし、その他の企画も含め、各サークルのリーダーを対象とした研修内容とする。

【関係者・指導者等対象フォーラム】

高校生サークルの指導者もしくは青少年ボランティアのリーダーを対象に、先進的な事例の紹介や情報交換、討議を通して、今後の活動や運営に役立てる。

関係した学校・団体等の名称

【高校生対象フォーラム】県内の高校生サークル27団体（所属高等学校34校）

【関係者・指導者フォーラム】市町村関係者（15市町村）大学生 サークルOB

地域の現状と特色

山形県では、地域を単位とした青少年ボランティアサークルの活動が盛んで「ＹＹ（やまがたヤング）ボランティア」と呼ばれており、他県にはあまり例を見ないことから、「山形方式」として注目されている。この「ＹＹボランティア」は、学校単位ではなく、学校卒を越えて地域単位の活動として、より自主性の高い活動として展開している。

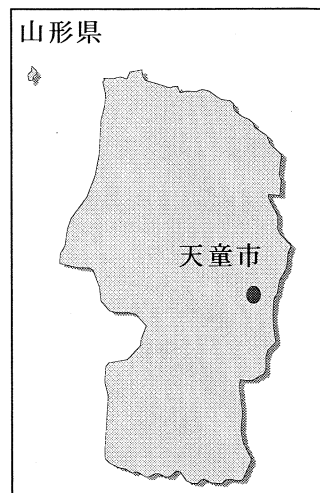
サークルの活動は、それぞれの地域に根ざしており「子ども対象ジュニアリーダー活動」、「手作り人形劇」、「地域行事への協力」、「清掃・環境活動」、「国際交流」、「施設訪問」、「一人暮らし老人訪問」、「冬場の老人宅の雪下ろし」など多彩である。

また、サークルはそれぞれ地域にマッチしたユニークなサークル名を持っており、例えば鮭川村の「SAKEKKO」、朝日村の「かだんこの会」（“かだんこ”は“かたくり”の方言）、大蔵村の「ぎゃらくと」（“ぎゃらくと”は“おたまじゃくし”の方言）、寒河江市の「チェリーズ」などがある。

現在、県内44全市町村に93のサークルがあり、1,664名が活動しているのに加え、小・中学生や青年層のサークルもできはじめ、ボランティアの輪は確実に広がっている。

「ＹＹボランティア」に関する青年の家の取り組みは、1976年に開催された「高校生ボランティア養成講座」以来、名前を変えながらも毎年支援事業を開催し、1994年の「はばたけ青春の翼～ボランティアのつどい～」で、高校生実行委員会が企画・運営を自らの手で行う形態が定着。その後1998年の「全国ボランティアフェスティバル」や2001年の「生涯学習ボランティア推進フォーラム 　ＹＹボランティアフェスティバル to 全国」などを経て、今年度の「ＹＹボランティアフォーラム」が行われた。

青年の家では、県内ボランティアサークルネットワーク「やまがたヤングボランティアネットワーク」を1997年に開局、翌年からはネットワークの基地として、「ＹＹボランティアビューロー」を運用し、各種の支援を行っている。



企画から活動までの経緯

- | | | |
|--------|--------------------------------|--------|
| 6月 9日 | 各地区ＹＹボランティアセンターに運営委員の選出 | 運営委員委嘱 |
| 7月21日 | 第1回運営委員会 | |
| | 本事業の趣旨説明、役員選出、事業計画、企画概要検討、役割分担 | |
| 8月 9日 | 第2回運営委員会 | |
| ～10日 | 企画詳細検討 | |
| 9月 4日 | 参加者募集開始 | |
| 9月21日 | 第3回運営委員会 | |
| | 内容・運営体制確認、リハーサル | |
| 10月 6日 | 各講座講師依頼 | |
| 10月18日 | 「ＹＹボランティアフォーラム」当日 | |
| ～19日 | （含 高校生フォーラム 関係者・指導者フォーラム） | |



運営委員会の様子

事例の展開内容

【高校生フォーラム】

(1日目)

- 12:45 開会式 入所オリエンテーション
13:45 アイスブレイキングゲーム「溶かしてみせます！あなたの心の大きな氷」
参加者全員アイスブレイキングゲーム
15:30 分科会「ワイワイ語ろう！ボランティア」
8グループに分かれ、KJ法を用いた討議 「ボランティアって何？」
17:30 夕食交流パーティー 「今夜はワイワイ」「活動発表PART1」
全員参加の立食パーティー 2つのサークルの活動発表
19:30 公開ディスカッション 「GO!GO!ディス!!」
ディベート体験 「ボランティアは有償？無償？」
21:00 フリーディスカッション 自由参加トークング

(2日目)

- 9:00 ワークショップ「〇〇の部屋 ～ボランティアのワザ体験～」
屋根のない部屋（アウトドア系） 子どもと遊びたい人の部屋（幼児系）
自分探しの部屋（自己発見系） 仲間づくりの部屋（コミュニケーション系）
企画・運営の部屋（実務系） 福祉の部屋（福祉系）
※ 優れた技術を持つ方6名の講師によるボランティアのスキルアップワークショップ
11:30 昼食交流会「おべんとTime!」「活動発表PART2」
掲示している壁新聞を見ながら弁当昼食 2つのサークルの事例発表
12:30 YY2003フィナーレ
「仲間からのメッセージ」・・・東京都からの参加サークルから
「ダンスin the YY」・・・地域おこしダンスサークル（小・中・高校生）のパフォーマンスと参加者全員でのヒップホップ系ダンス
反省会「YYの木」・・・全員の想いを綴ったYYの木を製作
閉会行事

【関係者・指導者フォーラム】

- 12:45 開会式
13:30 ポスターセッション
＜第1分科会＞発表者 2名（市町村担当者）
「はじめて高校生サークルを担当して ～悩みを語ろう～」
＜第2分科会＞発表者 2名（指導経験者）
「高校生サークルを活性化させるには？～どうするサークル運営～」
＜第3分科会＞発表者 4名（大学生 高校生サークルOB）
「ボランティアって何？～青年層のボランティアを考える～」

15:30 全体会（分科会の報告）

16:00 閉会行事

【参加者数】 参加総数（延べ人数） 235名

高校生（78） 青年ボランティア・大学生（48） 市町村職員・教員（26）

講師・ダンスパフォーマー（29） 一般見学者他（14） 運営委員・事務局（40）

企画・活動する上でのポイント、留意点など

運営委員（高校生9名 一般10名）は、各地区から推薦されたいわば地域のリーダーであり、運営委員が主体的に企画・立案し、自らの手で運営する形態を重視しながら、フォーラム当日の企画はもとより、運営委員会での企画・立案や準備、当日のフォーラム運営も含め、すべてがボランティアの学習の場であることを意識しながら運営に当たった。

また、フォーラムの柱を「学び・考え・体験する」の3つとし、その他の企画も含め、各サークルのリーダーを対象とした研修内容とし、各サークルが持つ問題点や興味・関心を事前に把握し、色々な学習形態（ワークショップ・KJ法・ディベート・ポスターセッション等）を取り入れ、より効果の上がる講座を目指した。

さらに、運営委員に関しては、サークル・家庭・所属高校・所属企業・団体等への連絡とお願いを徹底し、より活動しやすいように配慮したのに加え、一般参加者も、特に高校生は所属高校に参加状況を知らせるなどして、学校側の協力が得られるよう配慮した。

評価

昨年度までの“交流”を主とした「フェスティバル」から、“学び”を主とした「フォーラム」に形を変えての開催であったが、方向性も含め変更の意図するところは達成できた。

関係者指導者フォーラムでは、サークル指導者が抱える運営や指導に関する諸問題を話し合う機会として有意義な会であった。また、同時に高校生サークル卒業後の青年層がボランティアについて討論する分科会を設けたことは、今後にむけた青年層のボランティア活動の活性化に大きな契機となった。

改善点としては、今年度は各サークルのリーダーを対象にといった考え方だったためか、参加者が思ったより少なかったため、地域の行事や各サークルの事情等で参加できるサークル数を考慮して募集対象や人数を決めなくてはならないと感じた。

また、サークル数や人数を増やすためには、行政関係の指導者・担当者への支援はもちろんだが、継続性を考えれば、一般青年層が行政の支援を受けながら高校生ボランティアサークルを指導するような形態を模索していかなければならないのではないと思われる。



YYボランティアフォーラムの様子